

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	15	0	0	85	100
総合力指標	知識・技術力	0	2	0	0	10	12
	思考・推論・創造する力	0	5	0	0	10	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	3	0	0	15	18
	コミュニケーション力	0	0	0	0	15	15
	取組みの姿勢・意欲	0	3	0	0	10	13
	問題を発見・解決する力	0	2	0	0	15	17
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
レポート	①		毎回授業後、ミニレポートを提出する。内容に関しては、授業を振り返り心理職を目指す者として、①授業を通してできたこと、②授業内でやり残したこと、③今後の課題について具体的に書くこととする。ミニレポートは当日中に Teams で提出をする。				コメントを付し Teams 上で返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	以下の3点について口頭試問を行う。①面接基本姿勢が身についているか評価する。②基本的なコミュニケーション技術が身についているか評価する。③心理職を目指す上で心理職に対する適性と進路を自覚できているか、授業の内容を踏まえた自己課題の認識とその改善方法の方針を持っているか評価する。				後日フィードバックの時間を設ける。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
備 考							
他 担 当 教 員	高田 毅						
教員の実務経験	瀧口 綾：臨床心理士また公認心理師として23年の臨床経験を有する。 高田 毅：臨床心理士また公認心理師として16年の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	現場での経験を活かして、心理カウンセリングの基本的な知識とスキルを真摯に学生に教授する。						
そ の 他	公認心理師取得を目指す人は必ず履修すること。 生成 AI (ChatGPT 等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。 大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。						